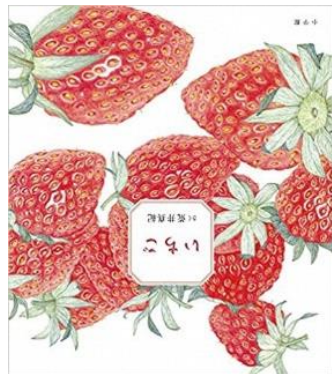


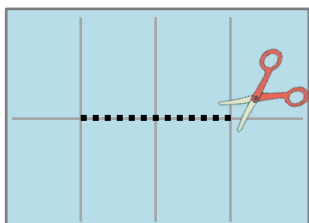
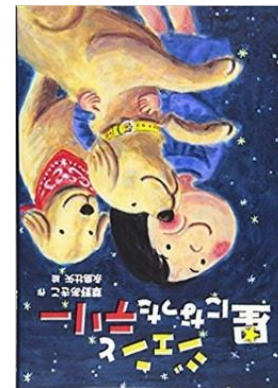
いちごはすきですか？いちごを食べるとがぶち音がするのよ、たねをかんでいるからです。ひとこの美からとれるたねは、おおよそ300こ。なえをうえると、白い花が赤い実になり、つぶつぶのたねができます。いちごが育つようすを見てくださいよう。

えほん『いちご』
荒井真紀／さく 小学館



ジエンは、ユイの家にいる犬です。みんなには見えないけれど、ジエンにはときどき、前にかわれていた犬のトリートツゼンあらわれる。トリートツゼンは、ユイのトリートツゼンは、ユイのトリートツゼンは、ユイのトリートツゼン。ジエンは、なんだかおもしくありません。

K913
『ジエンと星になったトリートツゼン』
草野あきこ／作 永島壮矢／絵
岩崎書店



紙を8つにおいて、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみだてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としょかんのホームページもみてね！

わ く わ く
本 だ な



2020年
5月号

1 2 3 年

えほん

『はじめくんがっこうへいく』



もりかわしげみ／さく
やまにしげんいち／え
ナツメ社

6さいのはじめくんは、小学校がどなたところか知りたくてたまりません。そこで、お姉ちゃんのとをつけて、こっそり学校へ行くことにしました。

はじめくんといっしょに、学校をたんけんしてみよう。

K913

『しらゆきちりか ちっちゃいな』



薫くみこ／作
大島妙子／絵
PHP 研究所

1年生になったちりかは、学校へ行きたくありません。うしろのせきに、ライオンみたいなすずき君がいるからです。

すずき君は、ちりかのかみの毛をひっぱったり、いろんなかえ歌でからかってきたりします。

北米ノースウツズには、美しい森と数えきれないほどの湖があります。湖の氷がとける5月、写真家の大竹さんと大工のウエインは、春をさがすカヌーの旅に出ました。

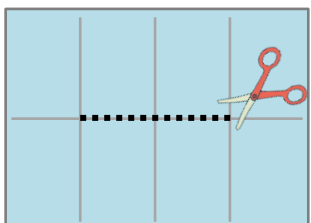
湖と湖のあいだは、カヌーやキャンプ道具をかついで運びまします。旅の楽しみは、動物たちとの出会い。日がたつにつれ、花や緑があふれ、ノースウツズはもうすっかり春です。

K295 『春をさがして カヌーの旅』
大竹英洋／文・写真 福音館書店



江戸時代の新潟湊。寅吉は、船と店を取りつぐ廻船問屋の息子です。町一番のいたすら小僧の寅吉は、質屋の主人をからかって、おこらせたばかり。ある日、問屋であつかう船が事故にあいました。質屋の主人にお金を借りに行くくと、交かん条件として、八日後の湊祭りのふたいで人を笑わせるように言われます。

K913 『湊町の寅吉』
藤村沙希／作 Minoru／絵
字研プラス



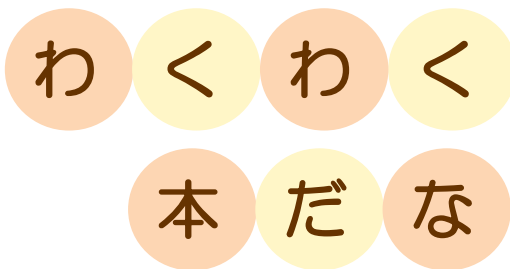
紙を8つにおって、半分にひろげてね。てん線のところに、ハサミで、きりこみをいれて、くみだてれば、本のかたちになるよ！

編集・発行 富山市立図書館

富山市西町5番1号

電話 076-461-3200

としゃかんのホームページもみてね！



2020年
5月号

4 5 6 年



K933

『おひめさまになったワニ』

ローラ・エイミー・シュリッツ／さく

ブライアン・フロッカ／え

中野怜奈／やく 福音館書店

コーラひめは、朝からばんまでやることばかりで、遊ぶひめがありません。ようせいに助けをもとめる手紙を書くと、次の朝、大きなワニがあらわれました。

ワニは、ひめのドレスを着て、モップのカツラをかぶり、1日ひめになりすますと言います。本物のコーラひめは、おしろをぬけ出して、遊ぶことにしました。